

表1 出張所の事務取り扱いの現状(15年度)

	市民課 (市役所本庁舎)	ひばりが丘・ 上の原・滝山出張所
住民異動届 受付件数(件)	12470	2124
諸証明書 交付件数(件)	123326 (自動発行機分を含む)	51,651 (母子手帳・税証明含む)
公金等収納額 (千円)		277,728 (別に滝山出張所内の 西武信用金庫収納分あり)
職員配置数 (名)	22 (うち嘱託1名、 管理職除く)	12 (うち嘱託3名)

出張所は地方自治法に設置

の方向に利用されてきました。

### これまでの出張所の位置付け

ひばりが丘、上の原、滝山の順に3つの出張所が置かれました。当時は、道路・交通網・生活インフラが立ち遅れ、その環境の中で、身近な町役場、市役所として、出張所は地域の方に利用されてきました。

## 市政構造改革 選ばれ続ける まちづくりのために



市内には現在、ひばりが丘・上の原・滝山の3つの出張所があります。この出張所事務の評価・検証は、16年度経営方針でも取り上げられた重要課題の一つです。庁内に設置した「出張所事務調整連絡会」はこのほど検討を重ね、出張所事務見直し基本計画(報告書)を取りまとめました。この報告書では、社会環境の変化に対応すべく、条例に基づき出張所を廃止し、衣替えしたサービス拠点として「地域連絡所」の設置を提案しています。今号ではその内容をお知らせします。

市民課メールアドレス  
shimin@city.higashikurume.lg.jp

### 出張所運営の現状と課題



現在、出張所で扱っている事務を大きく分類すると、転出入届の受理に代表される登録等受付事務、住民票の写しなどの諸証明書交付事務、市税などの公金収納事務、その他各部署への取り次ぎ業務の4つに区別できます。この中でも特に市民の出張所利用目的として多いのが、諸証明書の交付申請と税金などの納付です(現状については表1参照)。

3出張所に配置されている職員は12名(うち嘱託職員3名)で、出張所だけの総人件費がおよそ8900万円です。これは出張所の運営費の9割以上を占めています。出張所の所管区域は条例で定められています。ところが、市の住民記録オンラインシステムの稼働(昭和59年)と、全国の住民

出張所の所管区域は条例で定められています。ところが、市の住民記録オンラインシステムの稼働(昭和59年)と、全国の住民

今のままの出張所では市民ニーズに対応しにくくなっているんだね。新しい地域連絡所としてどう変わっていくのかな？



表2 市民説明会の開催日程

日	時	会場
第1回	1月22日(土) 午前10時~正午	東久留米団地 第2・3集会所
第2回	1月22日(土) 午後2時~4時	西部地域センター 第2・3講習室
第3回	1月23日(日) 午前10時~正午	南部地域センター 第1・2講習室

### どのように改革するか

基本台帳ネットワークシステムの稼働(平成15年)により、所管区域の意義は薄れました。また、国民健康保険や国民年金の資格取得・喪失の届け出が出張所でもできますが、制度が複雑化してきていることもあり、担当課である保険年金課から離れた出張所では市民ニーズに一元的に対応しきれなくなっています。

このように出張所の現状と課題を検証した結果、この報告書では、所管区域を定めた出張所条例を廃止し、現行の出張所の事務から登録等受付事務を外してこれを市役所本庁舎に一本化することとしています。そして、主として諸証明書交付事務と公金収納事務

現在の出張所を廃止し、地域連絡所へ移行する時期は18年5月中としています。各連

### 地域連絡所の運営

**ご協力ください**  
**2005年農林業センサス**  
17年2月1日現在で、全国一斉に「農林業の国勢調査」といわれる「2005年農林業センサス」を実施します。この調査は、今後の農林業の政策に役立てるために、5年ごとに実施される極めて大切な調査です。1月中旬以降、農林業を営んでいる方の所に調査員が伺い、調査票に農林業の経営状況など記入していただきますので、ご協力をお願いします。詳しくは総務部総務課統計担当(内線2379)へ。

### 地域連絡所の概要

市役所出張所を廃止し、その跡に地域連絡所を設置する。市民部市民課に所属。地域連絡所の事務は、証明書の発行事務、公金収納事務、市役所各部署への取り次ぎ(都営住宅申込書の配布等)事務とする。

地域連絡所は、正規職員が取り扱うことが望ましい事務および出先機関では対応しきれない事務は扱わず、嘱託・臨時職員等の配置により合理的に事務を遂行し、かつ運営コストの削減を図る。

これまで出張所で行ってきた住民異動届、印鑑登録、国民健康保険資格喪失、国民年金資格喪失は、市役所本庁舎市民課および保険年金課でのみ取り扱う。

嘱託・臨時職員等の配置から開所は週4日とする。開所時間は午前8時半~午後5時

移行開設時期は18年5月中をめどとする。一定期間の地域連絡所の利用状況を検証し、再度取り扱い事務、運営方法の見直しを図る

自動発行機は、市民の利便性および人件費の削減等の効果が期待できる。市役所本庁舎以外の市民の利用しやすい場所への増設を検討する

地域連絡所への移行による機能の縮小とそれに伴う従事職員の減員などにより生じる余裕スペースの活用を図る

### 計画の進め方について

この報告書の全文を市ホームページまたは市政情報コーナー(市役所2階)でご覧いただけます。また、表2の日程で市民説明会を3回開催します。市民の皆さんの意見を踏まえて、市として17年3月をめどに基本計画を決定していきます。

わたしの見てある記  
市長 野崎重弥

新年明けましておめでとうございます。今年も地方自治体を取り巻く環境は、依然厳しい状況が続くと予想されます。しかし、どのような困難な時代にあっても、人は知恵を出し合い、努力を積み重ね、その困難な時代を自分たちの力で乗り越えてきたと考えます。「希望の扉が開くこと」を信じて日々の努力を積み重ねてまいります。さて、昨年は台風の度重なる襲来で、降雨量が一時期に集中したために市内の湧けつ水ポイントでは、こんこんと水が湧いています。私が居住しています柳窪は、市内の中では旧来の風情を数多く残した地域で、黒目川の最上流部あたりの湧水量は例年に比べても多いようです。しかし、黒目川の最上流部は、歳とし「かさず川」で、どんなに水量が多くとも節分を越えて湧きがあることは決してない」と地域の古者は言います。昔は節分が歳を取る区切りであったためにそのような言われるそうです。市内には、自然や武蔵野の面影を強く残す地域が数多く残っています。時間が取れたときにはぜひとも市内を散策してみてください。心を和ませられるものが、数多くあります。「わがまち東久留米」素晴らしい地域です。